

第四次葉山町総合計画実施計画事業
振り返りの基本的な考え方について

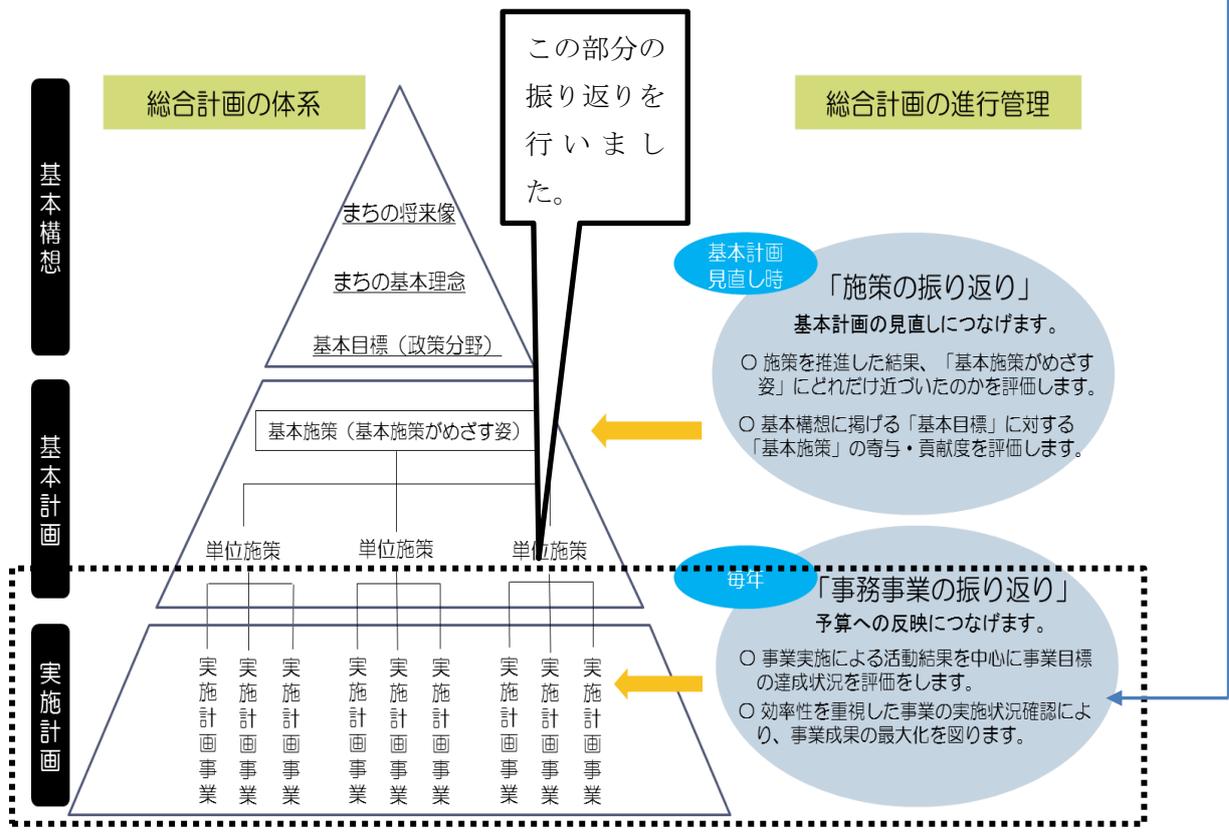
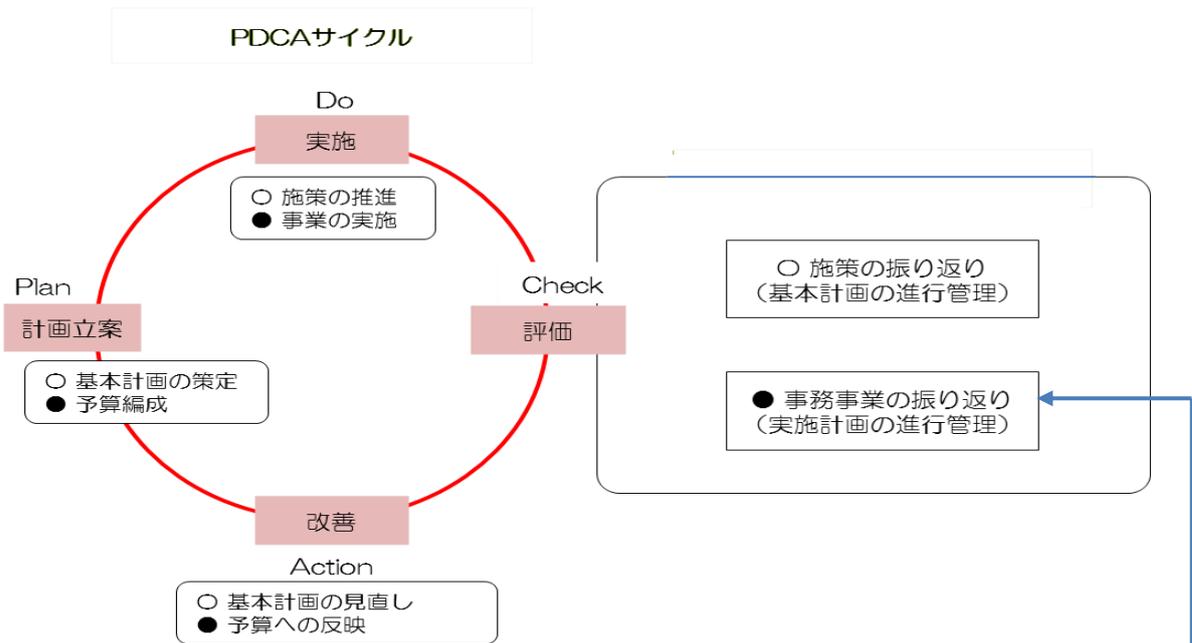
1 実施計画事業の振り返りの目的

平成27年4月に第四次葉山町総合計画期間がスタートし、すでに6年が経過するところです。策定した計画を実効性あるものにするためには、計画・立案 (Plan) - 実施 (Do) - 評価 (Check) - 改善 (Action) のいわゆる PDCA サイクルによる進行管理を行うことが大切であり、それを怠ると計画は単なる「絵にかいた餅」になってしまいます。

この総合計画実施計画事業の振り返りを行う目的は、基本計画に定める施策を推進していくための実施計画事業が果たして適切な手段であるのかという有効性の観点から主に振り返りを行うものです。総合計画で設定した町の将来像に向かって町政を進めていくうえで、基本構想-基本計画-実施計画の三層ピラミッドの上下がそれぞれ目的と手段の関係にあることを踏まえ、定期的に検証を行い、上位の目的達成のために実現の可能性を高めていく必要があります。

また、限りある財源を町民にとって真に必要なサービスに充てるために、この実施計画事業の振り返りを通じて、いかに効果的・効率的に事業を実施するかを考える機会とします。

地方分権の推進、住民ニーズの多様化に伴い、日々の業務負担が以前にも増して大きくなっているのは、部署ごとに多少の差があるものの、すべての課に共通する課題です。しかしながら、こういった状況に置かれているからこそ、取るべき手段が妥当であるか、自ら振り返ることが重要なのです。限られた人材・財源で目的を達成するために、振り返りを行い、更なる町民サービスの充実と適切かつ効率的な行政運営を目指す必要があるのです。



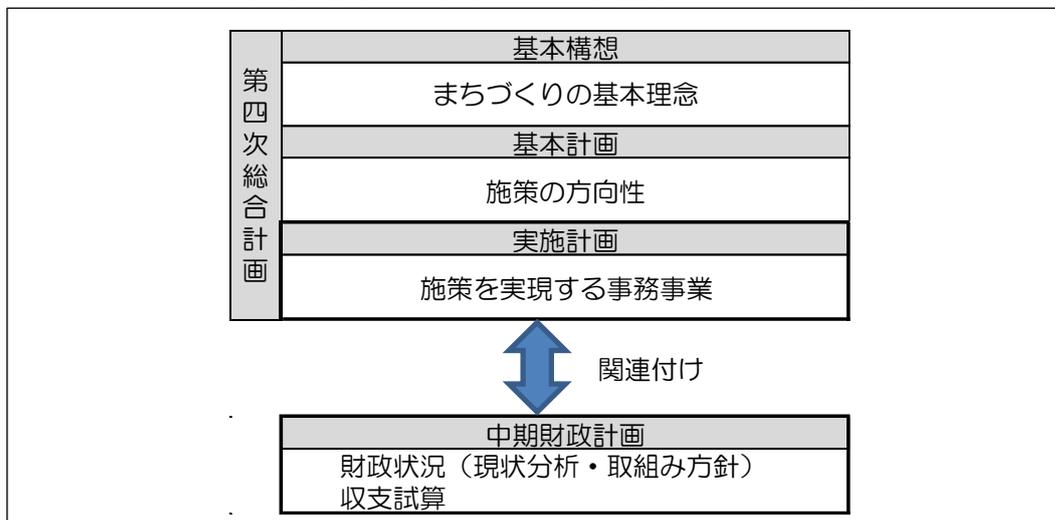
(第四次葉山町総合計画より)

2 総合計画実施計画と中期財政計画の関係について

総合計画を財政面から担保することを主目的として策定した「中期財政計画（平成27年度～平成32年度）」を踏まえ、限りある財源を有効に活用し、収支の均衡が図られた健全財政を維持しながら、実施計画事業を推進していきます。

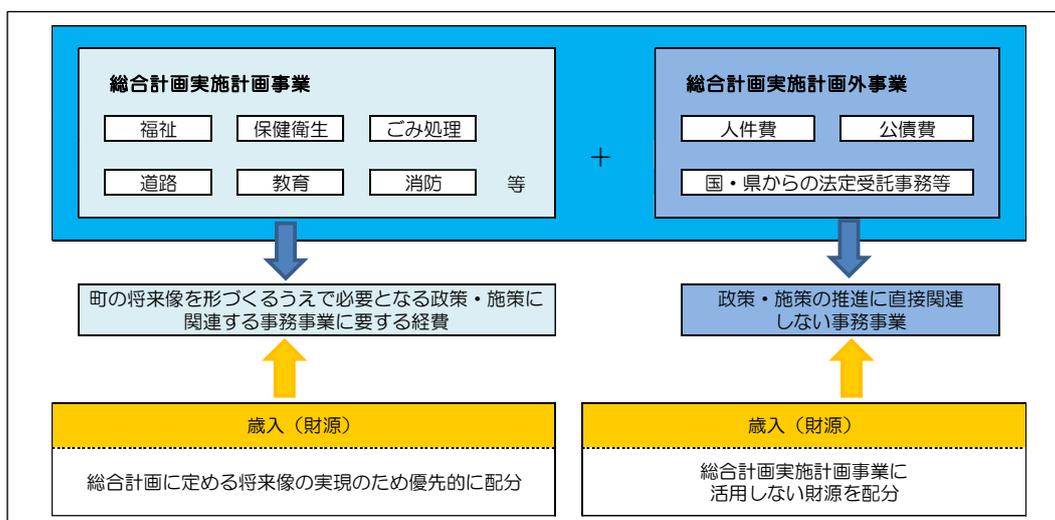
振り返りにより見直した事業内容や事業費による修正と連動して、「中期財政計画」も平成30年3月に見直しを行いました。

(参考) 総合計画実施計画と中期財政計画との連動



(「中期財政計画」より)

(参考) 中期財政計画収支試算対象



(「中期財政計画」より)

3 実施計画事業振り返りと予算編成との関係

実施計画事業の振り返りにより当該事業の改善を行い、その結果を予算編成につなげていきます。予算編成においては、事業の振り返り結果を踏まえたうえで、事業内容や事業費等の精査をしつつ、総合計画の着実な推進に向けて適切な財源の配分を行っていきます。

一方、実施計画事業の対象ではない経費（法定受託事務にかかる経費や、行政内部経費等）については、行政改革の視点から効率的・効果的な事業実施を図り、予算編成を通じて見直しを図ります。

4 スケジュール

実施計画の振り返りの結果を予算編成に反映させるためのスケジュールは、次のとおりです。（平成30年度の実施計画事業の振り返りを例としています。）

○スケジュール案

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施計画事業	(4月から5月) H30出納閉鎖期間								(11月から3月) R2当初にかかる部分的な見直し			
財政課					ヒアリング		10月下旬 予算編成 方針	予算査定				
各課等			(6月～7月) H30実施計画事業振り返り		ヒアリング			R2予算要 求に反映				
政策課				ヒアリング	取りまとめ				振り返り調 査票の公表			
部長会議								11月上旬 報告				
総合計画 審議会							10月下旬 審議会開催					